

各位

令和6年度 2学期の学校評価結果報告（児童、保護者）

高岡市立中田小学校
教頭 須古 充

令和6年度、2学期の教育活動について、児童、保護者の評価結果をまとめました。
保護者の方々からは貴重なご意見をいただきました。この結果を教職員で共有し、更なる教育活動の充実を図るように努めてまいります。

【アクションプラン】	目標	児童	保護者
なかよし中田っ子 ④相手の気持ちを考える	80%	88%	85%
かんがえる中田っ子 ⑥考えを書く話す発表する	70%	67%	58%
たくましい中田っ子 ⑬遊ぶ活動する運動する	80%	87%	80%

【考察】本校では、「アクションプラン」として、「なかよし中田っ子」で80%、「かんがえる中田っ子」で70%、「たくましい中田っ子」で80%の達成目標を設け、教育活動を行っている。

「なかよし中田っ子」では児童も保護者も80%以上、「たくましい中田っ子」ではどちらも80%以上と、目標を達成している。

一方で、「かんがえる中田っ子」では、児童も保護者も70%以下となり目標値を達成することができなかった。3学期は、学習参観や卒業式等に向けて、自分の思いを表現する機会が増える。自分の考えをみんなの前で発表するだけでなく、グループでの話し合い活動を取り入れるなど、表現を実感できる場を設定していきたい。

【児童と保護者で値に差がある。または、両方低い。】	児童	保護者
⑧進んで家庭学習	73%	51%
⑨進んで読書	71%	40%
⑩早寝	69%	67%
⑪早起き	76%	68%
⑭ゲームやテレビの時間を決める	74%	46%

【考察】児童と保護者で、最も差が大きい項目は、⑨「進んで読書」で31%の開きがあった。秋から冬にかけて、日照時間が短く読書に適した季節である。児童一人一人の興味・関心を大切にしつつ、お勧めの本を紹介していきたい。

児童と保護者で、2番目に差が大きい項目は、⑭「ゲームやテレビの時間を決める」で28%の差があった。「ゲームやネット動画、テレビの時間を決める理由」について一緒に考える時間を大切にしたい。

⑧「進んで家庭学習」については、1学期末の結果に引き続き、「将来の自分」や「何のための学習なのか」を考えることが大切である。

【概ね高い値】	児童	保護者
①学校が楽しい	85%	85%
②進んで挨拶	91%	82%
③友達と仲よく	94%	93%
⑤よい悪いを考えて生活	92%	90%
⑦授業中の学習理解	84%	71%
⑫朝食	95%	93%

【考察】1学期末と比べ、児童の②「進んで挨拶」が8%増加した。児童会での取組や学級での話し合い活動により、児童の挨拶への意識が向上したと考えられる。また、⑤「よい悪いを考えて生活」が4%増加した。日頃の生活について見直す機会を増やしたことがよい結果に結びついたと考えられる。

③「友達と仲よく」は、1学期末と同じで高い値となった。

⑦「授業中の学習理解」では、比較的高い値ではあるが、1学期末と比べ児童も保護者も減少している。学習内容が難しくなっていることも原因と考えられるが、今まで以上に児童一人一人の理解に応じた学習を大切にしていきたい。